

豊浦町議会だより

# つながり

158号

令和2年  
11月10日発行



## 主な内容

### 定例会 9月会議

- 一般質問 …………… 2
- 議案審議 …………… 10
- 補正予算 …………… 10

委員会報告 …………… 11

### 定例会 8月会議

- 補正予算 …………… 14
- 議案審議 …………… 14

### 定例会 8月第2回会議

- 議案審議 …………… 15
- 補正予算 …………… 15

委員会報告 …………… 16



村井町政の疑問を  
5名の議員が

# 一般質問

## 問う!!



渡辺 訓雄 議員 共同墓地設置の取り組みについては？

大里 葉子 議員 コロナ禍で子どもの貧困実態と対策については？

山田 秀人 議員 核のごみ処分場応募については？

石澤 清司 議員 高齢者のケアと対策については？

大高 一敏 議員 大岸保育所、礼文華からの  
児童送迎バスの継続運行については？

### Q



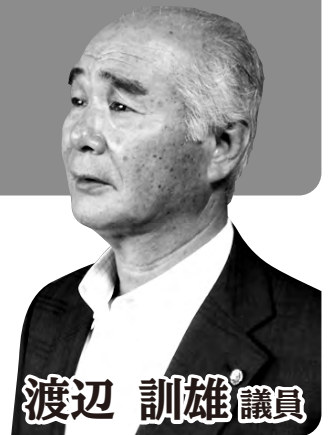
## 共同墓地設置の 取り組みについては？



村井 洋一 町長

今後の状況の変化に応じて視察を含め対応したいと考えています。

### A



渡辺 訓雄 議員

### Q

質問 1

町政施行140周年記念事業の現状については？

節目である記念事業の現状と進捗状況について答弁を求めます。

### A

答弁(町長) 1

今年度は、明治13年に虻田郡戸長役場が設けられた時を開基と定め、140周年に当たり、記念すべく大きく4点の事業を予定しています。

1点目は、冠協賛事業で各種イベントや大会に協賛金を交付する事業で、現時点では新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのイベント等が中止となっしましまいパークゴルフ大会1件のみ実施となっています。

2点目は、11月に予定している功労者等特別表彰で、予定どおり実施のため現在準備中です。

3点目は、140周年を記念した広報別冊号の発行で現在準備中です。

4点目は、松浦武四郎の北海道探訪を題材としたミュージカルの記念公演を12月以降に実施するか、しないかを検討している状況です。

**Q 質問 2**

**しおさい入館料の  
条例制定については？**

入館料について、町と指定管理者は恣意的とも思われる判断で先に決め実行したが、料金改定は条例が優先であり、前回の答弁等では9月に制定したい旨であったが、いつ制定するか答弁を求めます。

**A 答弁(町長) 2**

豊浦温泉施設の設置及び管理に関する条例の改正は、定例会6月会議において、9月に提案させていただく予定であると答弁しており、本定例会において入館料や宿泊費等についての上限額の設定や、文言の修正および追加した条例の一部改正案を提案しており、ご審議のほどよろしく願います。



**Q 質問 3**

**礼文華分譲地の  
状況については？**

現地の進捗状況等について答弁を求めます。

**A 答弁(町長) 3**

礼文華町有地の払い下げの進捗状況は、9月下旬までに売買土地の境界の決定、10月中旬に分筆測量業務入札および発注、12月下旬

に広報とようらで公売について町民周知、1月中旬に公売実施、1月下旬に売買契約締結を予定しています。(土地面積約3千㎡程度)

**Q 質問 4**

**バイオガス液肥と散布手数料  
料現状の無料については？**

収支状況の要である収入について、1年間は余儀なく条例で無料としたが、その後恣意的な判断で令和2年度は減免を活用しているのが実態であるが、そろそろ理由はともかく条例どおり使用料を徴収し、少しでも安定経営を目指し取り組むべきであるので答弁を求めます。

**A 答弁(町長) 4**

液肥散布手数料については、稼働開始1年間は試験散布であるという考えから、条例においても無料としており、本来であれば本年度より条例に基づき手数料を徴収すべきですが、前年度予定してい

た試験散布を予定どおり実施できていないことから、本年度においても試験散布とし減免規定により無料としています。利用者の方には、効果を実感していただいておりますが、この事業が安定経営に向けて早急に条例どおり徴収に向け実施します。

**Q 質問 5**

**共同墓地設置の  
取り組みについては？**

時の流れと家族の様々な思いと変化等に向け、先を察すると創意工夫し取り組みが必要な時と考えますので答弁を求めます。

**A 答弁(町長) 5**

現在のところ、共同墓地を設置の要望をいただいていませんので設置は考えていませんが、設置を検討している自治体もあるので、これらの状況を検証し、今後の状況の変化に応じて視察を含め対応したいと考えています。

Q



## コロナ禍で子どもの 貧困実態と対策については？



村井 洋一 町長

子育て支援会議の意見を聞きながら対応していきます。



大里 葉子 議員

Q

質問 1

### 企業誘致で

### 人口減少ストップへ

少子高齢化と労働人口の低下、人口減少は大きな社会問題で、本町もそのとおりです。ＩターンやＵターンで豊浦町に来たくても帰りたくても、働く場所・雇用がありません。人口減少ストップに、人口増につなげるために企業誘致に取り組んでいただきたいが、対策を伺います。

A

### 答弁（町長）1

平成16年に制定された企業立地促進条例を活用した事例はありませんが、人口減少問題は極めて重要な課題として、豊浦町人口ビジョン及び総合戦略を中心に取り組んでいます。新規就農者は5年間に15人、新規起業数は20件、移住体験者数は54件と、それぞれに成果を上げています。

コロナ禍での働き方、リモートワーク、サテライトオフィス等、社会情勢を踏まえて新たな企業誘

致の捉え方を検討する必要があるものと考えています。

Q

質問 2

### ちよっと暮らし移住体験 （住宅）については？

コロナ感染拡大により、地方移住に関心を持つ若い世代が増え、道内も移住先に注目されています。移住定住につなげるために、いかに豊浦町にお越しいただくか、「ちよっと暮らし移住体験住宅」で豊浦町を体感していただくか、それには宣伝が必要です。利用状況も含め、ペットについてや移住促進PR動画の作成について伺います。

A

### 答弁（町長）2

利用状況は、平成29年度9組22人、平成30年度17組38人、令和元年度11組32人、本年度8月末現在4組11人が利用されていますが、ペットを連れての利用はできません。移住促進PR動画は、豊浦町のホームページに掲載されています。

Q

質問 3

### コロナ禍で子どもの貧困 実態と対策については？

今年3月、「第2期豊浦町子ども・子育て支援事業計画」が策定されましたが、その計画の54ページに心配な数字を見つけました。子どもの貧困率で全国との比較です。全国13・9%、豊浦町20・1%で全国を上回っています。子どもの貧困率の算出方法、実態把握のアンケート調査、先が見えないコロナ禍の中、本町の子どもの貧困対策について伺います。

A

### 答弁（町長）3

貧困率の算出方法は、280世帯に配布して149世帯の回答を得て、「相対的貧困」「合意基準」「困窮経験」の3つの指標を用いて算出しています。コロナ禍の中で再調査の予定はありませんが、子どもの貧困対策は、現在の取り組みを推進するとともに、子育て支援会議の意見を聞きながら対応していきます。

# 核のごみ処分場 応募については？



山田 秀人 議員



## 文献調査への応募は するべきではない。



村井 洋一 町長

**Q 質問 1**  
国保税の減免  
基準については？

厚生労働省は4月、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者の国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料について、市町村が減免した際に財政支援を行うと通知しました。減免は、どの月を対象に判定をするのか伺います。

**A 答弁(町長) 1**

本町においては、今年2月から減免を申請する月までのうち、最も低い月の1カ月分の収入を基準として年間の見込額を算定し、減免の判定を行っているところです。

**Q 質問 2**  
新型コロナ対策の  
政策課題については？

コロナ対策は自然災害とみる観点  
が有益とし、自然災害に対する  
備えや政策の問題として分析する

必要がある。農林漁業者への持続  
化給付金申請サポート支援体制を  
伺います。

**A 答弁(町長) 2**

漁業者については、ほぼ100  
%の方に漁組がサポートしていま  
す。また、農業者については、農  
協より持続化給付金の他各種制度  
の周知や申請支援を実施しており、  
新型コロナウイルス感染症の影響  
を受けた生産者支援として「野  
菜・花き・果樹・茶」といった高  
収益作物の次期作に前向きに取り  
組む生産者支援対策として、「高  
収益作物次期作支援交付金」や感  
染拡大防止対策を行いつつ、販路  
回復・開拓や事業継続・転換のた  
めの機械・設備導入や人手不足解  
消の取組支援策に対する「経営継  
続補助金」の申請について農協に  
おいて周知集約し申請手続のサポ  
ート支援を実施しています。

**Q 質問 3**  
買物施設の  
設置については？

コロナ危機を克服して、どのよ  
うな町をつくるのが問われてい  
る。公設民営型の建設を積極的  
に推進するため、どうすれば運営で  
きるのか、財政規模や支援体制、町  
民からの協力など建設・運営に向  
けて調査・研究すべきではないか。

**A 答弁(町長) 3**

買い物施設の設置については、  
繰り返し答弁となってしまう  
が、町として、新たに買い物施設  
を建設する考えはありません。ま  
た、公設民営についても、コロナ  
禍以前ではありませんが、町内外へ  
の相談や協議し、新たな店舗展開  
は難しいといった意見や実態調査  
済みであり、足の確保として、町  
営バスとの連携を含めたコミュニ  
ティバスの充実と利用者の状況に  
応じた、町民生活の充実を図って  
いきたいと考えています。

Q  
質問 4

## 核のごみ処分場

## 応募については？

原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場選定への文献調査に北海道寿都町長が応募を検討している問題について、検討撤回と、処分場のない安心安全な北海道の実現を求める声明を発表すべきではないか伺います。

A  
答弁（町長） 4

「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」において、『特定放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべきであり、受け入れ難いことと宣言』されています。また、豊浦町の美しく豊かな郷土、自然環境や地域文化を後世に引き継ぐことは、私たちの責任であります。これらのことから、北海道においては、高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査への応募はするべきではないと考えます。今後については、西胆振圏域の自治体等と連携・協議の上で行動したいと考えています。

## Q



## 高齢者のケアと 対策については？



必要な支援策を  
提案しています。

村井 洋一 町長

## A



石澤 清司 議員

Q  
質問 1

## 総合保健福祉施設（やまびこ）に関わることに ついては？

① 要介護認定に漏れた高齢者のケアと対策について伺います。

② 会計年度任用職員の継続確保のため、処遇改善手当らしきものを支給すべきと考えるが伺います。

③ 介護老人保健施設の病床の固定化に対し、中間施設としての打開の道を講じるべきと考えるが伺います。

④ 一般介護予防事業の活動について伺います。

⑤ 介護保険総合事業のガイドブックの配布について伺います。

A  
答弁（町長） 1

① 総合保健福祉施設内に設置している「地域包括支援センター」では、要介護認定の有無にかかわらず、全ての高齢者を対象に相談を幅広く受け付け、不安や介護予防、認知症など必要な支援策を提

案しています。

② 令和2年度からは、介護職員等特定処遇改善手当を創設し支給しています。経験や技能に応じた処遇改善を図ってきたところです。離職の防止を図り、人材の確保に取り組んでいきます。

③ 一部の療養室が長期入所されている方で固定化している現状がありますが、一定程度許容すべき状況にあると判断しています。その上で在宅復帰、機能強化としてのリハビリに努め顧客確保に向けて邁進していきます。

④ 住民団体の「はつらつ運動の会」が主体的に運動教室を実施していますし、介護予防に資する通いの場が複数提供されています。健康に関心を持っていただけるところが必要で、継続して周知・啓蒙活動に取り組んでいきます。

⑤ 令和3年度は第8期介護保険事業計画の初年度であることから、介護保険制度全般に関するガイドブックを作成し、全戸配布する予定です。



質問 2

国保病院を守るために  
何をすべきか？

- ① 看護師等の資格取得研修受講の対応について伺います。
- ② 介護医療院の設置について伺います。
- ③ 認知症ケア加算の届け出について伺います。
- ④ 礼文華・大岸診療所の訪問回数増について伺います。



答弁(町長) 2

- ① 看護師としての知識・能力アップや各種加算を取得するための資格取得研修などに計画的に参加しています。
- ② 人口減少・高齢化などにより、どのような病院が町民に必要なのかなど、次期病院改革プラン策定において、病院運営検討委員会でやまびこを含めた長期的視点で十分議論しなければならぬ事項の一つと考えています。



③ 昨年8月1日より加算を取得し対応しているところです。認知症高齢者の看護実践に必要な知識を取得するための研修に4名の看護師が参加し、他の看護職員等への知識伝達も行っているところです。

④ 現在、月に1回開院しており、礼文華で7人、大岸で2人程度が受診しています。必要な検査等は通院していただいています。診療所の開院を増やしてほしいとの要望はない状況です。自宅への訪問診療は月に4日程度、16名の方の自宅を訪問していますし、グループホーム2カ所にも訪問診療を行っているところとです。



質問 3

行政のしくみの中での  
豊浦町社会福祉協議会の  
位置づけと何を受け皿に  
すべきか？

社会福祉協議会は、地域福祉を適進するための中心的役割を担う団体と位置付けられていますが、町として何を担っていただくことがふさわしいのか考えを伺います。



答弁(町長) 3

地域の多様な福祉ニーズに対応し、住民により近い位置で行政とのパイプ役を担うとともに、ボランティア等を主体とした地域福祉活動の中心的な役割を果たし、実践していただくことを考えています。「地域支え合いまちづくり事業」「配食、除雪などの生活支援事業」「地域サロンなどの小地域活動」「介護福祉業務担い手人材確保対策事業」など、地域の特性に合わせた福祉事業を町とともに取り組んでいるところです。



Q



## 大岸保育所、礼文華からの児童送迎バスの継続運行については？



村井 洋一 町長

懇談会で廃止の承諾を得ており、令和3年4月1日から廃止と考えています。

A



大高 一敏 議員

Q

質問 1

大岸保育所、礼文華からの児童送迎バスの継続運行については？

令和3年度、礼文華からの児童送迎運行が廃止と聞いています。礼文華は一次産業が豊かで出生率も高く、今後においても文化・観光など発展性がある地区で、送迎バスは欠かせないものと考えます。保育所を大岸に統合した時の経緯と、今後の継続運行について伺います。

A

答弁(町長) 1

平成16年4月に大岸保育所に統合しましたが、理由として地区人口の減少と、保護者の利便性、園児の育ちへの影響を考えたものです。また、園児の送迎については、自家用車を持たない方がいましたので、足の確保で始めました。今後の運行については、バス利用の減少と、保育士が3名で園児の安全確保ができないことから懇談会

で廃止の承諾を得ており、令和3年4月1日から廃止と考えています。

Q

質問 2

核ごみ、寿都町受入反対表明については？

北海道知事を初め、寿都町の核のごみ受入に対し各市町村が反対表明をしています。道内は一次産業を基軸としており、風評被害等の影響は計り知れないと考えます。特に近隣の黒松内町は、はしっこ同盟を結んでおり長万部町も連携し同調すべきと考えますが伺います。

A

答弁(町長) 2

今回の核のごみ問題において、黒松内町・長万部町がそれぞれ地域圏域の自治体と連携し、再考や抗議の申し入れを行ったことは承知しています。はしっこ同盟は経済、文化などに関する事項となっています。今後については西胆振圏域の自治体と連携・協議していきます。

Q

質問 3

コロナウイルス対策については？

①各世帯に保険料の減免、さらには支援金を給付する考えがあるか伺います。  
②インフルエンザ予防接種は、ウイルス感染から身を守る役割と、重症化を防ぐ役割があります。全町民無料で早期実施が必要と考えが伺います。

A

答弁(町長) 3

①保険税減免の条件として、主たる生計維持者がコロナ感染症により死亡、傷病により事業の廃止、失業の場合には保険税を全額免除としています。また、収入が前年と比較し3割以上減少など条件を満たした場合は、前年所得に応じて20%～100%の範囲で免除していますが支援金については考えていません。  
②インフルエンザ予防接種については、重症化リスクが高い高齢



者、子ども、今年度は、妊婦を無料の対象に加えて実施していきま

**Q 質問 4**  
**避難所施設については？**

① 平面計画において、レイアウト・ゾーン分けをどのように考えているか伺います。

② 避難所が安全とは限りません。身軽に移動を考え、感染予防グッズを全世帯に配布する考えがあるか伺います。

③ はしっこ同盟の協力体制、連携があるか伺います。

④ 自治会、町民の防災組織への参加、具体的な協力体制を考えているか伺います。

**A 答弁（町長） 4**

① 国及び道のガイドライン等を参考に、避難者の間隔の確保、発熱及び濃厚接触者は個室、専用スペースを考えています。

② 感染予防グッズの配布は考えていません。

③ はしっこ同盟の防災に関しての協議はしていません。

④ 町としまして、自主防災組織の設立支援など、地域の皆様と一体となり体制を強化していききたいと考えています。

**Q 質問 5**  
**指定管理施設、管理者支援対策については？**

公共施設・避難所などのコロナウイルス感染予防の備品はある程度設置されましたが、指定管理施設に関しては未整備と考えます。対策を伺います。

**A 答弁（町長） 5**

本町における指定管理者制度による管理施設は「天然豊浦温泉しおさい」「道の駅とようら」「すいしや」「社会館・とわにー」の4施設があります。本町においては、指定管理者と協定書により施設の管理負担区分を定めています。

**Q 質問 6**  
**バイオマス事業、原料発酵については？**

発酵しているのかと疑問の声を聞きます。原料に対し同量の水を加えますが、加水は発酵を妨げると考えます。また、いきなり生原料を投入しますが、通常は一旦堆肥場で発酵を促し、頃合いを見計らい原料投入が望ましいと考えます。なおについても無臭と聞いていましたがかなりの悪臭と評判です。正しい発酵の過程と状態について伺います。

**A 答弁（町長） 6**

本プラントは、メタンガスを発生させる嫌気性発酵法により処理を行っており、発酵温度も42度の中温発酵の湿式法であるため、水分90%程度で発酵させるので加水は必要です。原料についても日数が経過していないものの方が多くのガス量が見込めるものと思いません。また、なおについては、ス



ラリーや堆肥よりも少ないと実感していますが、散布に関しては、近隣に民家がないような圃場での散布に努めていきます。

# 定例会 9月会議

## 光ファイバ整備事業に係る

### 補正予算を可決!



9月16日から18日までの3日間の日程で、定例会9月会議が再開されました。

初日と2日目は一般質問が行われ、5名の議員から21件の通告があり、理事者との間で闊達な議論が展開されました。

3日目は、監査委員の選任、教育委員会委員の任命、功労者表彰の同意について、いずれも原案どおりに同意しました。

新型コロナウイルスに関する補正予算としては、町民の皆様を支援するため、町内で利用できる応援券の発行事業をはじめ、これまで未整備地区があった光ファイバの整備事業等を審議

し可決しましたが、応援券発行事業については、5千円分のうち2千円分が飲食

限定となっていたところを、議員間討議にて飲食限定を撤廃すべきとの結論に至り、2千円分の飲食限定を撤廃した5千円分の応援券とすることにしました。

また、決算審査特別委員会付託案件の令和元年度各会計及び国保病院会計決算の認定については、委員長報告のとおり、いずれも認定すべきものと決したほか、バイオガスパラント整備事業調査特別委員会の中間報告（巻末に掲載）が行われました。

## 議案審議

### ◆選任・任命の同意

#### ●監査委員の選任

池田芳春氏（浜町）の退職に伴い、菅野厚志氏（大岸）を選任するにあたり、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会が同意しました。

#### ●教育委員会委員の任命

相川里美氏（浜町）を再任するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会が同意しました。

### ◆功労者表彰

#### ●公益功労者として…

▽高岡 正義氏（大岸）

#### ●自治功労者として…

▽高岡 信男氏（大岸）

▽林 哲彦氏（船見町）

▽草野 善治氏（大岸）

豊浦町表彰条例第3条の規定に基づき、議会が同意しました。

#### 全会一致で可決!

### ◆工事請負契約の締結

#### ●簡易水道施設電気計装設備更新工事

契約の方法↓指名競争入札  
契約の金額↓5170万円

（消費税を含む）

契約の相手↓新栄・日野特定建設工事共同企業体

#### 全会一致で可決!

## 補正予算

### 【一般会計】

#### 《歳出》

●コロナに負けるな!!とよ  
うら元氣回復応援券配布  
事業(2228万8千円)

#### の追加

町内で利用できる応援券を発行し、町民を支援するとともに地域経済の活性化を図るため。

●小学校感染拡大防止事業

(第4次)(72万2千円)

#### の増額

●中学校感染拡大防止事業  
(第4次)(28万3千円)

#### の増額

新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品購入のため。

●社会教育施設感染拡大防止事業(第3次)(123万7千円)の増額

中央公民館、スポーツセンター、ふるさとドームにおける新型コロナウイルス感染拡大防止策に必要な物品購入のため。

●社会福祉の集い感染症対策支援事業(58万2千円)の追加

地域サロン等の感染対策を図るため、社会福祉協議会の備品、消耗品の購入費を支援するため。

●保育施設等新型コロナウイルス(第2次)(137万円)の増額

認可保育施設及び乳児家庭全戸訪問事業に係る感染防止用品の購入及び感染防止用品の購入費用を補助するため。

●モーターサイレン更新事業（362万4千円）の増額

礼文華地区のモーターサイレン及び時刻補正ユニットの老朽化等による更新のため。

●豊浦町光ファイバ整備事業（2億7507万6千円）の追加

民間事業者が実施する光ファイバ未整備地区の光ファイバ整備を促進するため、町が負担する経費を追加するため。

●町税過年度分過誤納還付事業（75万8千円）の増額

納税者へ法人町民税の還付及び還付加算金を支出するため。

●戸籍システム改修事業（277万2千円）の増額

戸籍附票及び総合行政システム改修に伴う委託料のため。

【特別会計】

●公共下水道事業（419万8千円）の増額

豊浦浄化センターで発生する下水道汚泥を処理場まで運搬委託するよう変更し、産業廃棄物として処理するため。

●総合保健福祉施設事業（632万円）の追加

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、電話機やナースコール等情報通信器の更新整備を行う。

●国民健康保険病院事業（1819万8千円）の追加・増額

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消耗品の購入、病院内パソコン・電話等情報通信機器の購入、入院患者が使用する器械浴室内の換気の強化、救急処置室・外来診察室等の改修を行うため。

●国民健康保険病院事業（1819万8千円）の追加・増額

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消耗品の購入、病院内パソコン・電話等情報通信機器の購入、入院患者が使用する器械浴室内の換気の強化、救急処置室・外来診察室等の改修を行うため。

委員会報告

決算審査特別委員会への付託案件

令和元年度各会計及び国民健康保険病院事業会計の決算のいずれも「認定すべきもの」と決しました。

全会一致で可決！

▽委員長報告の要旨

決算審査結果については、いずれも「認定すべきもの」と決した。しかしながら、監査意見や委員会での厳しい指摘や改善策などの意見を謙虚に受け止めて真摯な町政執行を求め、特に審査においては、次の3点について指摘等があった。

1点目は一般会計を全体的に見て不用額の多さが散見され、総額3億円を超えている。当初予算時の再認識と予算執行のあり方が厳しく問われた。

2点目は水産振興費における試験研究委託費で、既

に20年以上経過しているが、漁業振興に貢献する研究成果が表れていないことを重く受け止めるべきである。

3点目はバイオガスパラント整備事業についてで、20年と長期に亘る事業とは言え、単年度毎の液肥の消費動向と収支バランスが事業の成否を判別する重要な証拠になっていくことを忘れず、不転の決意を持ち、緊張感をもって取り組むべきである。

財政面では、基金からの繰入金増加や、大型事業に係る未償還金が令和8年度まで続き、基金の減少と財政の硬直化が危惧されるため、計画的な財政運用を求め、

歳入については、多くの方が税の重要性を自覚して懸命に納税している中で、

悪質な滞納者がいるとすれば決して許されるものではない。不納欠損処理件数が増加しているが、滞納額が軽微なうちに徴収する姿勢の強化を求め、また、コロナ禍により地方交付税や税収が好転することは期待できないことから、最少の経費で最大の行政効果を実践することを切望する。

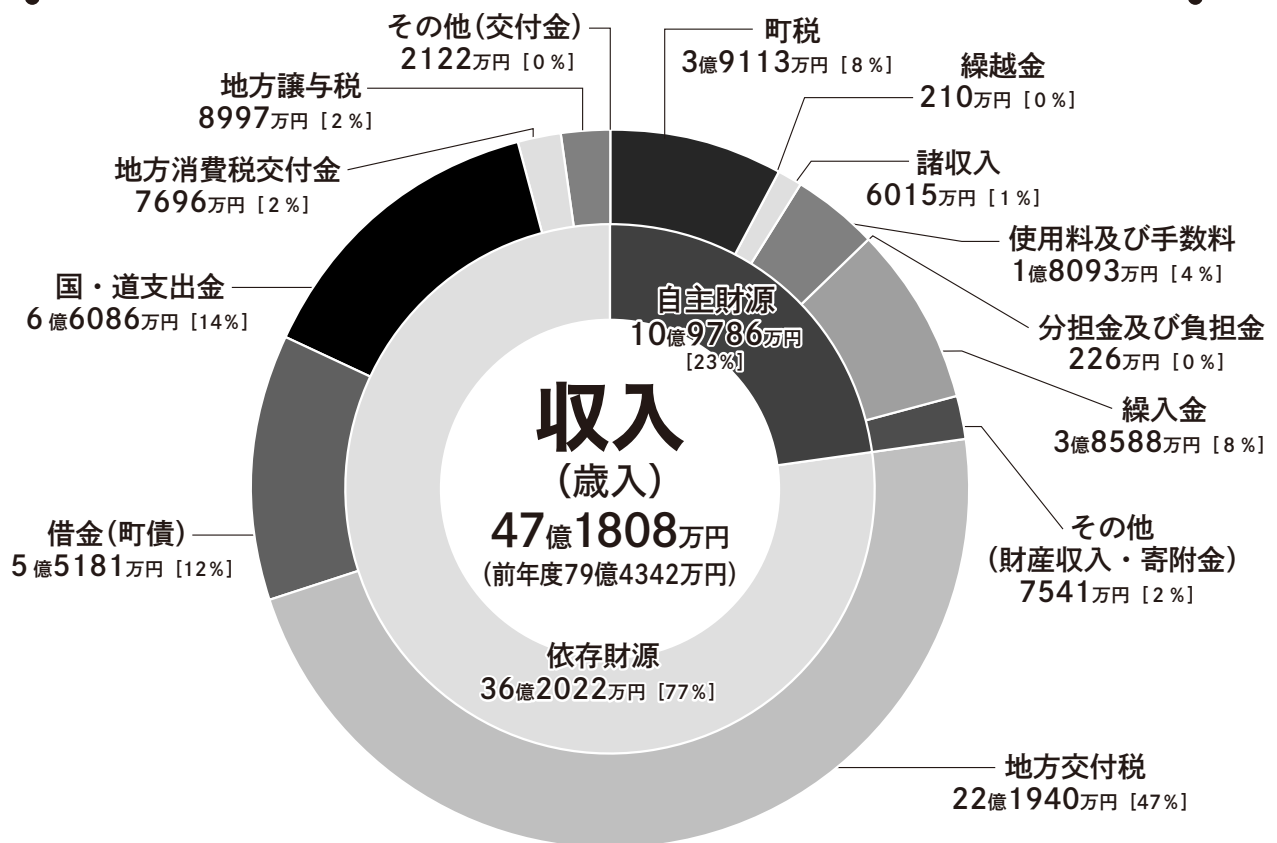
国民健康保険病院においては、利用者が減少し、昨年度に引き続き単年度収支で赤字を計上、累積欠損金が拡大したが、病院経営を支えるのは医師をはじめとするスタッフであるため、地域や患者の皆様との信頼関係に尽きることを永遠の指針としても過言ではないと確信したい。

決算審査特別委員会

委員長 木村 辰二

決算審査特別委員会を8月27日・28日に開催し、令和元年度各会計決算を定例会9月会議で木村委員長が認定の報告をした。報告では歳入について、不納欠損の処理件数が前年度に対し大幅に増えていることから、貴重な財源と負担の公平性の観点から「小事が大事」の考えをもち、滞納額が大きくなならないよう積極的に徴収する姿勢を求めた。歳出については、一般会計の不用額の多さが散見され、有効的な予算の執行の在り方が厳しく問われ、バイオガスプラント整備事業については、長期に亘る事業とは言え、収支のバランスが成否を判別する重要な証拠になっていく事を忘れず、緊張感をもって取り組むよう求めた。

## 税金の使い方をチェックしました！



### ■各会計決算

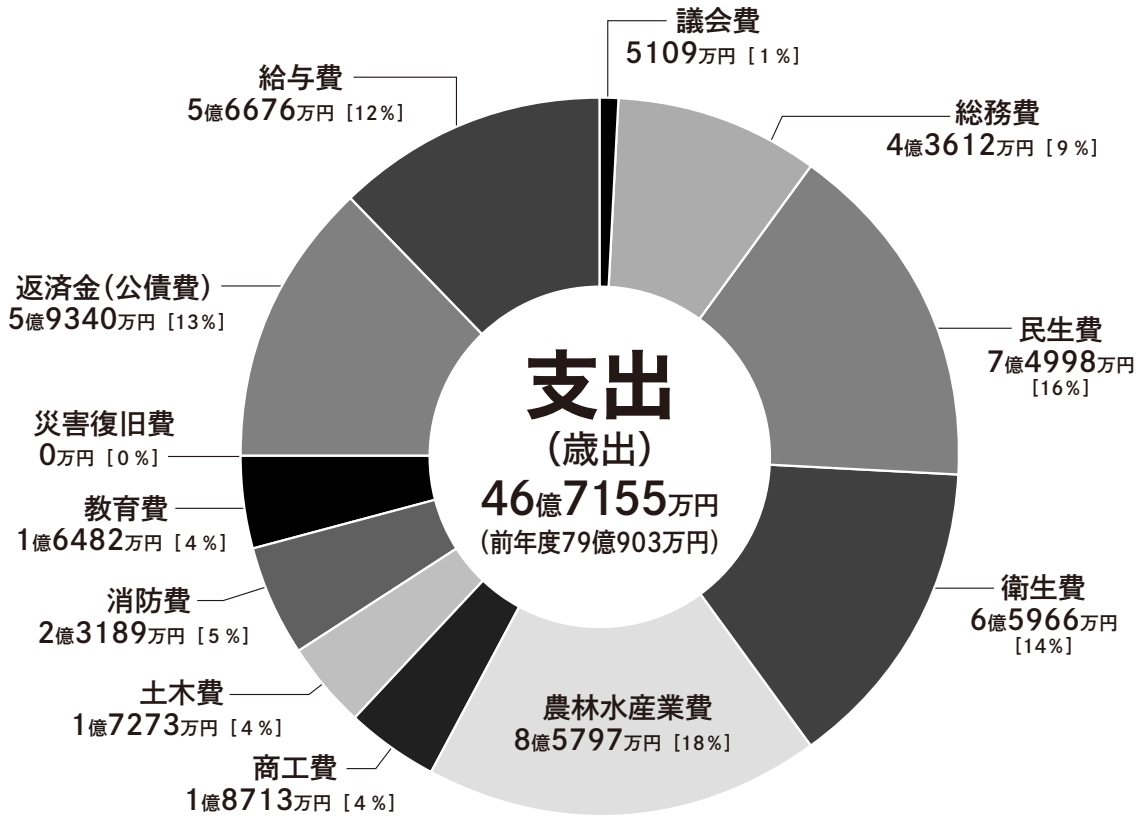
区分	歳入	歳出	差引	繰越財源	実質収支額
一般会計	47億1808万円	46億7155万円	4653万円	526万円	4127万円
簡易水道	3億1443万円	3億1433万円	9万円	0万円	9万円
公共下水道	2億5379万円	2億5373万円	6万円	0万円	6万円
国民健康保険	6億2942万円	6億2918万円	24万円	0万円	24万円
後期高齢者保健	1億2627万円	1億2616万円	11万円	0万円	11万円
介護保険	5億6191万円	5億6191万円	0万円	0万円	0万円
総合保健福祉施設	2億5694万円	2億5693万円	1万円	0万円	1万円
合計	68億6084万円	68億1379万円	4705万円	526万円	4178万円

### ■病院会計決算

区分	収入(歳入)	支出(歳出)	差引	補てん	収支差引額
国民健康保険病院	5億9587万円	7億1252万円	▲1億1665万円	6393万円	▲5272万円
収益的収支 (診療報酬・運営経費)	5億9587万円	6億4859万円	▲5272万円	0万円	▲5272万円
資本的収支 (施設・設備費用と収入)	0万円	6393万円	▲6393万円	6393万円	0万円

# 町民に喜ばれる 町政執行・運営を求む

## 令和元年度決算を議会が認定！



国保病院が唯一町民の医療機関であることから、経営基盤の強化に努めるとともに、地域医療水準の向上・工夫を求める！

### 収益の減少

病院利用者の減少等により、収益の主体である医業収入が大幅に減少するなど昨年度に引き続き単年度収支で赤字を計上していることから再度検証が必要である

### 経営改善への取組み

業務効率化によるサービスや経営を支える上での職員の確保を図るとともに、地域から信頼される病院を目指し取組むこと

### 新改革プラン等の取組み

過年度の各計画の検証、分析を行い、運営検討委員会の機能の発揮、関係機関等との連携を実施し、良質な医療の提供を求める

### 《監査委員報告の要旨》

決算書及び資料等については計数も相違なく正確で、予算執行も適正に処理していること認められるが、事務ミス、委託契約・補助金等に対する確認不十分等、職員に対する確認不足による取扱相違が散見され、業務遂行の基本となる例規に対する研究、研鑽を期待する。事故防止のため、引き続き会計規則による「予算執行計画書」等を作成・記録し、執行状況の確認等を実施するとともに、各種取扱要綱、マニュアル等の策定・活用により、適切な確認、相互牽制を徹底し、業務の停滞防止、取扱事故・犯罪疑義防止等リスク管理に努め、適正な取扱いの励行に努めること。また、町有財産である物品等の取り扱いにおいて、「備品台帳」の作成に向けて取り組んでいるが、早期整備を実現することや、財産管理は、土地・建物のみではなく物品等についても、町民から預かっている財産の認識を持ち、適正な管理を実施すること。

代表監査委員

池田 芳春

## 国及び政府へ意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次のとおり意見書を提出する。

「全国学力調査を全員参加方式から抽出方式に改めるよう求める意見書」

提出者 大高議員  
賛成者 渡辺議員、山田議員

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

提出者 大里議員  
賛成者 木村議員、石澤議員

「国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書」

提出者 石澤議員  
賛成者 根津議員、木村議員

「種苗法の改定に関する意見書」

提出者 根津議員  
賛成者 木村議員、石澤議員

いずれも全会一致で可決！

## 定例会 8月会議

直接請求による  
住民投票条例案が上程！

8月6日に定例会8月会議が再開され、新型コロナウイルス感染症対策による

小中学校及び避難所施設の

感染拡大防止対策に係る

補正予算のほか、直接請求

による住民投票条例案1

件が町長の意見書とともに

上程されました。条例制定

の直接請求の審議にあたっては、

請求代表者に意見を述べる機会を与えなければ

ならないとされているため、この定例会では、議案の上程後、意見を述べる機会とする日時や場所等を決定しました。このため、条例案の審議にあたっては、次の

議会にて行うこととなりました。

### 補正予算

#### 〔一般会計〕

#### 《歳出》

・小学校感染拡大防止事業

(第2次)(594万円)

の追加

・中学校感染拡大防止事業

(第2次)(117万円)

の追加

小中学校に学校消毒等作業員の配置、感染対策用品購入等のため。

品購入等のため。

・避難所施設感染拡大防止

事業(1045万7千円)

の追加

自然災害等に備え、避難所における新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、備蓄品を購入する。

全会一致で可決！



### 議案審議

#### ◆条例の制定

・「町民一世帯20万円支援

金支給とコロナ病全員無

料検査実施条例制定の賛

否を問う！町民投票条例」

条例制定請求代表者の意見

を述べる機会を、8月21

日、午後1時30分から本会

議場にて、発言時間を15分

以内と決定しました。

# 定例会 8月 第2回会議

直接請求による  
住民投票条例案を否決！



8月21日に定例会8月第2回会議が再開され、定例会8月会議に上程された直接請求による住民投票条例案が1件、補正予算3件などが上程されたほか、令和元年度各会計及び病院事業会計の決算の認定については、決算審査特別委員会に付託されました。

賛成2名（大高・渡辺の各議員）、反対5名（根津・大里・木村・山田・石澤の各議員）で否決！

## 議案審議

### ◆条例の制定

・「町民一世帯20万円支援金支給とコロナ病全員無料検査実施条例制定の賛否を問う！町民投票条例」  
条例制定請求代表者の意見陳述後に審議し、討論後の採決の結果、

### ◆条例の一部改正

・「豊浦町専用水道施設の設置及び給水に関する条例」  
料金の軽減または免除に関する規定がないことから、所要の整備を図るため、

全会一致で可決！

## 補正予算

### 【一般会計】

#### 《歳出》

・小学校感染拡大防止事業（第3次）（383万9千円）の増額

・中学校感染拡大防止事業（第3次）（330万4千円）の増額

新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品購入や修繕等のため。

・社会教育施設感染拡大防止事業（第2次）（692万3千円）の増額

中央公民館、スポーツセンター、ふるさとドームにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止策に必要な消耗品・物品購入・設備改修のため。

・選挙感染拡大防止事業（496万8千円）の追加

選挙における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて必要物品を整備するため。

・自治会敬老会等事業助成金交付事業（78万2千円）の増額

新型コロナウイルスの影響により敬老会等が縮小されておられ、自治会が高齢者

宅へ見守り訪問する機会を創出し、地域コミュニティの強化を図るため。

・出産育児応援臨時特別定額給付金給付事業（180万円）の追加

新型コロナウイルスの影響に対する生活支援策として、令和2年4月28日から令和3年3月31日に生まれた子の保護者に対して子1人につき10万円を給付するため。

全会一致で可決！

### 【特別会計】

・簡易水道事業（1112万2千円）の財源更正

・公共下水道事業（883万1千円）の財源更正

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、一般家庭及び事業者の5月・6月の水道・下水道料金等を減免し、その減免分を地方創生臨時交付金で対応する。

全会一致で可決！

## 議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、傍聴席の間隔を確保するため、傍聴席の一部を使用不可としております。また、傍聴時にはマスクを着用のうえご入室いただきますことをお願いしております。

皆様方にはご不便をおかけしておりますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

# 委員会報告

## バイオガスプラント整備事業 調査特別委員会中間報告

### ▽委員長報告の要旨

平成31年定例会3月会議にて、議員発議により、バイオガスプラント整備事業については、事業の管理・運営に不透明な部分が多々ある等により、本特別委員会が設置された。

調査の経過は下表のとおりで、今後も協議・検討すべき主要な課題等については次のとおりである。

①液肥関係：液肥については、下水道汚泥投入により肥料登録を切り替える事態となり、当初予定では前年度末としていた無料試験散布期間を今年度も継続することとなった。今後は下水道汚泥を投入しないことで特殊肥料とする方向性となったが、液肥の利用拡大を早期に実現することや、原料処理手数料の単価増額への対応が望まれる。

②事業収支関係：令和元年度決算については赤字決算となったことが判明したが、おおむね計画どおりとのことだった。本事業は事業開始後5年間の赤字を含む20年間の事業収支で計画されたものであるも、当初計画

では、車両購入費等を見込んでおらず、以降、修正のたびに20年間の収支も変更されてきた。初年度から収入が予算対実績で428万円の歳入欠陥となっており、今後も長期的な視野に基づき精査することが必要で、経

費等の増加が懸念されることからも収益向上が望まれる。  
③売電関係：ガス発生との関係で調整のため機器を止めたことにより減収となっているが、おおむね予定どおり売電されているとのことだった。今後においては安定稼働による売電収入や、避難所等への蓄電池への活用なども望まれる。

④廃熱利用や余剰電力の活用：提案型のどのような事業者があるか検討することだが、実現可能性が高く効果的な活用や、町民への還元の見込みも望まれる。

バイオガスプラント  
整備事業調査特別委員会  
委員長 木村 辰二

### バイオガスプラント整備事業調査特別委員会 開催履歴等

回数	日付	開催内容等
第1回	平成31年3月15日(金)	委員長に木村辰二委員、副委員長に山田秀人委員を互選。
第2回	令和元年5月14日(火)	調査事項 (委員のみで開催し、目的や各委員の調査事項等を確認) 1. 本調査特別委員会での調査事項について 2. 本調査特別委員会の今後のあり方について
第3回	令和元年6月28日(金)	調査事項 1. 消化液関係について 2. 原料関係について 3. バイオガス関係について
第4回	令和元年8月22日(木)	調査事項 1. 体制・施設整備関係について 2. 事業収支関係について
現地調査	令和元年9月24日(火)	消化液を散布している新山梨地区のデントコーン畑を訪問し、生育状況を調査。
第5回	令和元年11月5日(火)	調査事項 1. 事業収支関係について 2. 今後について 3. その他
第6回	令和2年5月12日(火)	調査事項 1. 下水汚泥投入に伴う液肥の活用と今後の計画について 2. 液肥散布圃場先の生育状況について
第7回	令和2年6月24日(水)	調査事項 1. 事業収支関係について 2. その他
第8回	令和2年7月27日(月)	調査事項 1. 各委員からの質疑・調査事項について (1) 渡辺委員提出分 事業開始前からの収支見込が甘く、補助金申請時の内容と乖離が生じており、それらの説明と今後の収益見込みや散布面積拡大等について説明を求める。 (2) 大高委員提出分 20年間の事業計画における実績を踏まえた今後の収支見込みや、CO <sub>2</sub> 削減量等の計画値の見込み等について説明を求める。 (3) 山田委員提出分 直営・民間を含めた廃熱利用事業展開や計画等について説明を求める。

### 表紙写真の説明

9月15日 豊浦小学校  
マーチングバンド解散式

パソコンから動画で議会のように見られます。

豊浦町のホームページ

検索

豊浦町議会→議会中継にお進みください